

鈴木 基伸 (大手前大学)

1. はじめに

- ・難易文（属性叙述文）における構文特性：状態性
- ・状態性に伴う昇格

(1) 加藤(2008=2013)

- a. 本を読む。
- b. 本が読みにくい。【昇格】
- c. # 本が読みにくい。【残留】

(2) 昇格、斜格残留共に容認される場合

- a. 太郎は声 {が/を} かけやすい気さくな奴だ。
- b. 食事 {が/を} しやすいように食器を配置する。
- c. 仕事 {が/を} しやすい時間帯。

(3) 昇格がブロックされる場合

- a. 低気圧になると体調不良 {を/*が} 起こしやすい。
- b. 弱気な人はモラハラ被害 {を/*が} うけやすい。

(4) 斜格残留がブロックされる場合

- a. 「ノートパソコン」を買いたいんですが、どのぐらいの大きさがおすすめですか。」「13インチぐらい {が/??を} 使いやすいよ。」
- b. 【現在西宮に在住中の人に質問する】「これまで住んだ街の中でどこが住みやすかったですか。」
「やっぱり西宮 {が/??に} 住みやすいね。」

(5) 本発表での問い

- a. 昇格及び斜格残留がブロックされる理由は何か？
- b. 昇格及び斜格残留がブロックされない理由は何か？また両者の意味的差異は何か？

(6) 本発表での主張

- a. 昇格「やすい」文には《状態性》、斜格残留「やすい」文には《動作性》という構文特性が付与されている。
- b. 昇格「やすい」文は「V スルコト」というコトガラに対する容易さを表し、斜格残留「やすい」文は、「V スル」に対する容易さを表す。結果として非過去という時制解釈も加味する必要があり、「事態成立までの過程」に対する容易さを示す。

2. 先行研究

(7) 井上(1976)

- a. 近頃私は、誤植を見落としやすくなりました。（「見落としがち」に変換可。主語による動作の制御が不可能。「目的格が配置規則」が働かない。）
- b. 私には、この種の誤植を見つけやすい。（「見つけがち」に変換不可。主語による動作の制御が可能。「目的格が配置規則」が働く。）

(8) 嶋村(1980)

- a. F-1 文¹: 私はどこでも眠りやすい。(＋self-controllable)
- b. F-2 文: *君はどこでも眠りやすい。(＋self-controllable、以下の場合に適格性が上がる、①連体修飾構文、②「のだ、がる」をつける、③「だろう、ようだ、そうだ、らしい」などの法助辞をつける、④引用標識「と」をつける、「ので、から、ため、ほど」など理由・程度を表す従属節のとき。)
- c. F-3 文: 女性にはノークラの車が運転しやすい。(＋self-controllable、表層に与格主語)
- d. F-P 文: 柄のついた鍋は持ちやすい。／顆粒は胃の中で溶けやすい。(±self-controllable、特定の感じ手を必要としない。事象 (Dictum) の部分が性質として持っている難易についての属性を示す。)
- e. P 文²: 若い親は子供をほったらかしにしやすい。／秋の天気は変わりやすい。(±self-controllable)

	F-1 文	F-2 文	F-3 文	F-P 文	P 文
self-controllable	+	+	+	±	±
助詞交替 (昇格)	○	○	○	×	×
「がる」との共起	○	○	×	×	×
「やすい」の働き	状態述語	状態述語	状態述語	法助辞	法助辞
意味	難易	難易	難易	難易の属性	傾向
「やすい」の意味	—	—	—	好都合	不都合

(9) 井上(1997)

- a. 「N1 ガ N2 ヲ V スル＋やすい」の統語構造モデル
- ①容易性

N2 ガ

V やすい

 (複合形容詞)
- ②傾向

N1 ガ	N2 ヲ(ニ、ト)	V
------	-----------	---

やすい

 (接尾辞)
- b. 容易性＝「反復性・頻発性(頻度で測定)」「状態変化(進行度で測定)」であり、傾向性＝「逸脱性」を伴った「反復性・頻発性」「状態変化」である。容易性から傾向性が派生する。
- c. ヲ格、ニ格、ト格は「やすい」の前接動詞と結びついてコトを形成し、容易性の代わりに容易性から派生された傾向の意味が現れる。

(10) 三木(1998)

- a. (けがが治ったので) 私は歩きやすい。(非能格自動詞、補文の動詞が終了点を持つ場合は難易度の解釈しかない。)
- b. (にらめっこをすると) 花子は笑いやすい。(非能格自動詞、終了点を持たない、繰り返すことので可能な継続動詞の場合は頻度の解釈も可能。)
- c. 氷が溶けやすい。(非対格自動詞、状態変化の動詞(+終了点)の場合難易度の解釈しかない。)
- d. 事故がこの通りで起りやすい。(非対格自動詞、出現を表す動詞の場合頻度の解釈になる。)

(11) 加藤(2008=2013)

- a. 斜格残留は単独では自然さにぶれがある ((1c)参照) が、「本を読みにくい環境」のようにすると受容度があがる。
- b. 属性叙述の強さが昇格を起こす力として強く作用している。

¹ Facilitative = 「難易」を表す。

² Propensive = 「—しがち、—なりがち、ややもすればすぐそうなる」といった「傾向」の意味を表す。

- c. (1b): 「〈本が〉 〈読みにくい〉」という主述構造になっている。
- d. (1c): 「本を読む」という動詞句の構造を残存させて難易表現化したもの。

3. 昇格「やすい」文と斜格残留「やすい」文の構文特性

(12) 昇格「やすい」文 : 昇格→斜格名詞句と動詞の切り離し→形容詞化→《状態性》

(13) 斜格残留「やすい」文: 斜格残留→項構造の保持→非形容詞化→《動作性》

(14) 構文構造

a. 昇格「やすい」文 : [Xガ] [Vヤスイ]

b. 斜格残留「やすい」文: [XヲV] [ヤスイ]

☞構造上の「切れ目」を入れるのであれば上記のようになるが、解釈上の違いをどう認めるか？

(15) 意味構造に対する仮説

a. 昇格「やすい」文 : [XヲVスルコト] が [ヤスイ (容易だ)]

☞コトガラ化された事態 (特定のテンスに限定されないコトガラの具現性³) に対する「容易さ」という評価。

☞《非過去》という時制解釈が不要。

b. 斜格残留「やすい」文: 「XヲVスル」が [ヤスイ (容易だ)]

☞コトガラ化されていない事態に対する「容易さ」という評価。

☞《非過去》という時制解釈が必要。

☞事態成立以前から成立に至るまでの過程に対する容易さを表す。

(16) 証左となる例文 (BCCWJ より)

a. 「あなたが彼の立場で、不機嫌になっているのね」と私は彼女の態度を真似しながら、「彼の顔をうかがう」彼女を演じてみせた。「不機嫌なあなたの目から、私はどういうふうに見える？」
「先生の顔が、何か怒っているように見えます」「私に声をかけやすい？」「いいえ」「人をよせつけないような硬い表情をしているから、とても声かけられる雰囲気ではないです」

(BCCWJ、『恋が長続きしない理由』、PB21_00165)

☞「声をかけること」そのものよりも、声をかけるまでの過程を問題にしている。

b. しばしば一杯ごとに違うお酒を飲んでいくカクテルというのはこのうえもなく悪酔いしやすいお酒であると言えます。(中略) 自覚的に飲めば、一杯一杯の個性がはっきりしたカクテルはむしろ何杯飲んだか明確に数えやすい、悪酔いする前にグラスを置きやすいお酒にもなりうるのです。

(BCCWJ、『5本でできるカクテル講座』、PB35_00016)

☞「グラスを置くこと」そのものよりも、置くまでの過程を問題にしている。

c. なぜショップのお姉さんたちはあんなに細い人が多いのですか？【中略】小柄で細い、これがお店側にしては都合が良いんです。それに小柄な女性のほうが、お客様に圧迫感を与えないので商品を売りやすいんです。

(BCCWJ、Yahoo!知恵袋、OC09_00486)

☞「商品売ること」そのものよりも、売るまでの過程を問題にしている。

4. 仮説の有用性

4. 1. 斜格残留「やすい」文における昇格のブロック

³ 渡邊(2008:158)参照。

- ・昇格のブロック要因は－self-controllableにある。
- ・－self-controllable（斜格残留）の場合「傾向」の意味になる。

(17) 昇格がブロックされる例

- 炭水化物は血糖値 {を／*が} 上げやすい。
- 漁具は生物に被害 {を／*が} 与えやすい。
- 腹筋すると腰 {を／*が} 傷めやすい。

◆なぜ斜格残留に－self-controllable という素性が求められるのか？

(18) 仮説を用いた説明①

- 斜格残留「やすい」文：未実現、事態成立に至るまでの過程にフォーカスする。
- 声をかけやすい／グラスを置きやすい／商品を売やすい (=16)
☞声をかけるまで／グラスを置くまで／商品を売るまでが容易
- self-controllable（自己制御性）とは何か？
☞事態を行為者の意志によって開始・継続・終了することができる。
- 事態開始前の段階は＋self-controllable と言えるか？
 - カップラーメンを食べようと思ったら家においてなかった。
 - 横断歩道を渡ろうとしたら猛スピードの車が赤信号を突っ切って行った。
 - パソコンを立ち上げようと思っただが動かない。
- 事態未実現の段階では、実現の可能性に差はあれども、＋self-controllable だとは言えない。むしろ開始前であり未確定である以上、－self-controllable の素性が求められる。

◆なぜ－self-controllable（斜格残留）は「傾向」の意味になるのか？

(19) 仮説を用いた説明②

- 斜格残留「やすい」文：事態成立に至るまでの容易さ
- 事態成立前→行為に対する「選択」の可能性
- 当該の事態実現を「選択する」の容易さ→事態成立の方向・かたよりが生じる→「傾向」の解釈
☞昇格「やすい」文はコトガラそのものに対する容易さを表すため、＋self-controllable の素性が要求される。
☞－self-controllable の場合、斜格残留「やすい」文が要求され、「傾向」の読みとなる。＋self-controllable の素性が要求される昇格はブロックされる。

4. 2. 斜格復元のブロックについて

- (20) a. 一箇条の長さを、なるべく短く、20 字～50 字くらいにすること。そうすると箇条書きの文が書きやすい。(BCCWJ、『特許実用新案・意匠・商標出願の手続』、PB15_00298)
- b.?? 箇条書きの文を書きやすい。
- (21) a. オーストラリアは荷物の制限が 20kg だったかな？重量に気を付けること。あと、食べ物持ち込みに制限がいっぱいあるので気をつけること。トランクにナイフを入れておくと向こうで果物が食べやすいです。(BCCWJ、Yahoo!知恵袋、OC13_02240)
- b.?? 向こうで果物を食べやすいです。
- (22) a. 生地を混ぜたり、ボウルからきれいに生地を移すにはゴムベラ、練ったり、裏ごしたりするには

木ベラが使いやすい。

(BCCWJ、『簡単手作りクッキー&ケーキ』、PB25_00175)

b.?? 木ベラ を 使いやすい。

◆なぜ斜格復元がブロックされるのか？

(23) 仮説を用いた説明③

- a. 昇格「やすい」文ではコトガラ化された事態そのものに焦点が当てられている。
- b. 斜格復元することによって、「やすい」の焦点が事態成立に至るまでの過程にシフトしてしまう。
- c. 結果として解釈が変わってしまうため、斜格復元はブロックされる。

4. 3. 昇格・斜格復元が可能な場合

(24) a. 今朝電車の中で（そんなに混んではなかったけれど、座席は満員）、声がかけやすかったのか、妊婦さんが高齢者の方に「すみません、妊娠しているので座らせてください」と自ら席を譲ってもらっていました。 (BCCWJ、Yahoo!知恵袋、OC10_03694)

b. 声 を かけやす かった のか

(25) a. 会社員です。たまに集配に来る宅急便のお兄さんが気になっています。でも、話すきっかけがなくて。。。集配の時は、事務所の同僚が見てるので恥ずかしいし。みなさんならどうしますか？
【中略、以下質問に対する回答】伝票に担当者の名前などが記載されていませんか？名前がわかれば「〇〇さん、ご苦労様～」など声 を かけやす いし、暑い日など、冷たい缶コーヒーなどをそっと差し入れしてみては？ (BCCWJ、Yahoo!知恵袋、OC09_04961)

b. 声 が かけやす い し

◆なぜ格交替が可能となり、意味も（ほぼ）変わらないのか？

(26) 仮説を用いた説明④

- a. 昇格「やすい」文 vs 斜格残留「やすい」文 = (コトガラ化された) 事態そのものに対する容易さ vs 事態成立に至るまでの過程に対する容易さ
- b. 「声をかける」という、瞬間的かつ行為そのものに物理的難易が伴にくい場合、昇格「やすい」文における「やすい」の解釈が事態前の段階まで及んでしまう。
- c. 結果として昇格「やすい」文と斜格残留「やすい」文がターゲットとする領域が重複してしまい、意味の違いが生じにくくなってしまう。

5. 動作性から状態性への傾き

・連体修飾構造や「～ように」「～くなる」等が後接し、斜格残留「やすい」文単独での形になっていない場合、斜格残留が受容される。

(27) a. # この操作ボタンを使いやすい。

b. 料理研究家・栗原はるみ氏と共同開発したオープンレンジ。使用頻度の高い操作ボタン を 使いやす い 位置 に 配置 した ほか、オープングリル・メニュー全 15 品を掲載した「栗原はるみのおもてなしメニュー集」を付属。 (BCCWJ、DIME、PM11_00201)

(28) a. # 社長と話をしやすい。

b. 日本の社長は中小企業でもえらそうにしている人が多いが、外国人社長はそういう尊大な態度をとる人は少ない。フレンドリーで、話をしやすい雰囲気がある。

(29) a. # モモの袋をつかみやすい。

- b. モモの実は5月の中旬ごろから袋がけされて、7月から8月にかけて収穫されるんだよ。(中略)
まだ実が緑色のうちに袋がけしていくんだ。モモにかぶせる紙は、つつ状になっている。袋をつかみやすいように指サックをつけるよ。 (BCCWJ、ちゃぐりん、PM32_00116)

(30) a. # 事業計画を立てやすい。

- b. また、紛争処理手続等のルールが明確化したことによって、企業は貿易や海外直接投資に関する事業計画を立てやすくなる。 (BCCWJ、通商白書、OW4X_00128)

☞ 《状態性》を持つ昇格「やすい」文は単独での成立が可能。

☞ 《動作性》を持つ斜格残留「やすい」文は単独では不自然になる。

☞ 《動作性》が単独での不自然さを導く。

☞ 連体修飾構造化、他の成分が接続することにより、《動作性》が低下し、《状態性》が高まると考えられる。

5. まとめ

(31) 昇格「やすい」文

- a. 状態性が付与されている。
- b. コトガラ化された事態そのものに対する容易さを表す。
- c. +self-controllable の素性が要求される。

(32) 斜格残留「やすい」文

- a. 動作性が付与されている。
- b. 事態成立に至るまでの過程に対する容易さを表す。
- c. -self-controllable の素性が要求される。
- d. 統語条件によって動作性が低下し、状態性が高まる。

用例出典

BCCWJ：『現代日本語書き言葉均衡コーパス』（コーパス検索アプリケーション「中納言」使用）

参考文献

庵功雄ほか(2000)『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』松岡弘(監修) スリーエーネットワーク。

井上和子(1976)『変形文法と日本語(上)』大修館書店。

加藤重広(2008)「日本語における昇格と降格」『日本語受動構文の構造的意味と推意に関する語用論的原理の記述的研究』129-146。

加藤重広(2013)『日本語統語特性論』北海道大学出版会。

佐藤ちる子(1988)「難易文の派生について」『文経論叢 人文学科篇』9: 69-88。

嶋村誠(1980)「難易文管見」『神戸学院大学紀要』10: 101-118。

三木望(1998)「難易構文の『やすい』の解釈について」『京都精華大学紀要』15: 182-193。

渡邊績央(2007)「日本語の難易文」『東京大学言語学論集』26: 185-228。

渡邊ゆかり(2008)『補分標識「こと」「の」の意味的相違に関する研究』溪水社。